

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020183

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A		
単位施策	5	生涯教育施設・備品の有効活用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	町民センター施設整備事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	施設整備		関係課	#N/A		
事業目標	施設整備		ハード／ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

		全 体 計 画 事 業 内 容	平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	町民センター施設整備				街路灯改修(2基)	紙折り機購入 180千円 レーザープリンター購入 230千円 自動ドア修繕 630千円	非常用照明器具交換 757千円 電気工作物撤去及び交換工事 929千円 ガスボンベ保管庫扉修繕 694千円 婦人教養室暖房機購入 519千円
	街路灯改修(2基) 紙折り機購入 レーザープリンター購入 自動ドア修繕						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	4,829	0	0	890	1,040	2,899
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債 その他 一般財源	0 0 4,829			890	1,040	2,899
実 績 事 業 費	事業費(千円)	4,607	0	0	880	938	2,789
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債 その他 一般財源	0 0 4,607			880	938	2,789
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 街路灯改修(2基)	(実施内容等) 紙折り機購入 レーザープリンター購入 自動ドア修繕	(実施内容等) 非常用照明器具交換 電気工作物撤去及び交換工事 ガスボンベ保管庫扉修繕 婦人教養室暖房機購入
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	街路灯改修(2基)	備品購入、自動ドア修繕	修繕・工事・備品購入の実施
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	0%	0%	99%	90%	96%
		全体達成率	0%	0%	18%	38%	95%
		備考欄					

事業名	町民センター施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民センター	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	修繕・工事及び備品購入の実施	
【抱える課題やニーズは】	町民センターの建物及び設備の老朽化が進んでいる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	計画的かつ適切な整備による、良好な施設環境の維持。	① 非常用照明器具交換 電気工作物撤去及び交換工事 ガスボンベ保管庫扉修繕	目標年度 目標値 実績値 達成度	平成29年度 3件 3件 100.0%
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	本町の社会教育活動の拠点となる施設を、良好な状態に維持することにより、本町の社会教育活動の活性化に寄与する。	② 婦人教養室暖房機購入	目標年度 目標値 実績値 達成度	平成29年度 1件 1件 100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	非常用照明器具交換、電気工作物撤去及び交換工事 ガスボンベ保管庫扉修繕	非常用照明器具の交換、電気工作物の撤去及び交換、ガスボンベ保管庫の扉修繕		
	婦人教養室暖房機購入	温風式暖房機及び灯油タンクの購入		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	老朽化や経年劣化による施設や備品の破損等がみられ、放置することは施設利用に支障をきたす恐れがあることから、施設の改修や設備・備品の更新は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	施設及び設備の適切な維持管理が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	見積合せにより業者選定を行い、適切なコストで事業を実施することができた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民広くが利用する社会教育施設を対象とした事業であることから、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	<b>A</b>	
	計画どおり施設・設備の改修及び備品の更新を行い、施設環境が改善された。	

今後の展開方向  
(Action)

	<b>継続/現状維持</b>	
	町民センターは老朽化が顕著であることから、平成31年度策定予定の教育施設長寿命化計画を基に、町民のニーズに応じた計画的な施設改修等を検討していく。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止